

2009年度総会議案書

第1号議案 2008年度活動報告（案）および決算書（案）承認の件

第2号議案 2009年度活動計画（案）および予算書（案）承認の件

2009年5月12日

パシフィコ横浜会議センター

イベント学会

第1号議案

2008年度活動報告（案）および決算書（案）承認の件

1. 2008年度活動報告
2. 2008年度決算書

2008年度の主な活動

(2008年)

- 4月 1日(火) 理事選挙投票(～18日)
8日(火) 10周年記念出版執筆者懇談会
9日(水) イベント評価マネジメント研究会
18日(金) 10周年記念大会実行委員会(以降8月5日まで計6回))
22日(火) 選挙管理委員会(開票)
25日(金) 金曜サロン(37名)計9回開催 総計251名参加
5月 2日(金) 金曜サロン IN大阪(29名)計2回開催 総計64名参加
13日(火) イベントジャパン(パシフィコ横浜～14日)
14日(水) 運営会議(パシフィコ横浜)木村前会長を偲ぶ会(横浜市内にて)
28日(水) 理事会・総会(四谷・主婦会館)
30日(金) 10周年記念出版委員会(2007年度より計7回開催)
6月 2日(月) 2007年度助成研究報告会
7月 3日(木) 「イベント学懇談会」*観光産業戦略講座実現に向けて(10名)
7日(月) 法人会員「活動連絡会」七夕まつり懇親会(17名)
30日(水) 第1回運営会議(博報堂)
8月28日(木) 10周年記念大会スタッフミーティング・キックオフパーティ
9月 3日(水) 10周年記念大会(上智大学)、「イベント学のすすめ」刊行
10周年記念パーティ(四谷・主婦会館)
4日(木) 10周年記念研究発表大会(上智大学)
10月 2日(木) 2008年度研究助成応募受付開始(締め切り11月14日)
10日(金) 会報イベントロジー第21号(大会特集)発行
11月28日(金) 2008年度研究助成審査会(4件を選定)
12月 1日(月) 第2回運営会議(乃村工藝社)
2008年研究大会レポート&2007年度研究助成対象論文集発行
5日(金) 「イベントビジネス研究会」*学会ナビ実現に向けて(10名)
11日(木) 「なでしこサロン」*女性の視点でのイベント提案(7名)
22日(月) 2009年研究大会実行委員会(第1回)3月までに計3回

(2009年)

- 1月21日(水) 日本イベント業務管理者協会新年賀詞交歓会に参加
23日(金) 日本イベントプロデューサー協会(関西)20周年記念行事に出展
28日(水) 日本イベント産業振興協会主催「日本イベント大賞」表彰式に出展
2月 3日(火) 「イベント学懇談会」*学会の未来ビジョンを語る(15名)
25日(水) 法人会員「活動連絡会」*研究大会への参加について
3月18日(水) 2010年度研究大会実行委員会準備会(大阪市内)

1. 2008年度活動報告

1) イベント学会10周年記念大会

■会期：2008年（平成20年）9月3日（水）～4日（木）

■会場：上智大学

■テーマ：イベント イノベーション

■実行委員長：野川春夫副会長（順天堂大学教授）

■プログラム：

【9月3日（水）】13：30～19：30

時刻	プログラム	
13:30	開会式「開催挨拶」 成田 豊イベント学会理事長（電通最高顧問）	
13:40	「記念講演」～イベント イノベーション～ 堺屋太一イベント学会会長	
14:30	「シンポジウム」～イベントで社会を変革する～ モデレーター： 宮本倫明氏（Landa Associates Ltd 代表 イベント学会理事） パネリスト： 鬼頭宏氏（上智大学大学院地球環境学研究科教授・地球環境研究所所長） 鈴木大地氏（順天堂大学准教授・ソウル五輪金メダリスト） マリ・クリスティーヌ氏（異文化コミュニケーター イベント学会理事）	10号館講堂 ロビー展示併設
16:30	展示ブースオープン	12号館1階
16:30	「オープニング記念講演」 ～検証可能なイベント評価手法発展のために～ 栗原 毅氏（株式会社電通 IMC プランニング・センター）	102教室
18:00	10周年記念パーティ：プラザエフ7階カトレア（JR 四谷駅麴町口前）	

【9月4日（木）】9：30～15：00

- ・口頭発表：個人会員、準会員、法人会員による29件の発表
- ・ポスター発表：個人会員、準会員、法人会員による7件の発表
- ・映像発表：法人会員などによる2件の発表
- ・展示ブース発表：法人会員など10社・団体が出展

■大会レポート

名称：「2008年度研究大会レポート&研究助成論文集」

仕様：A4版 90頁 400部

発行日：2008年12月1日

2) イベント学会10周年記念出版

- 書名：『イベント学のすすめ』
- 執筆者：堺屋太一会長、成田豊理事長はじめイベント学会会員23名
- 装丁：浅葉克己理事（浅葉克己デザイン室）
- 出版委員長：師岡文男理事（上智大学教授）
- 出版社：株式会社ぎょうせい
- 体裁：単行本、A5判、ヨコ組、300頁、並製本・カバー装
- 定価：2600円（税込）
- 発行日：2008年9月1日
- 部数：2,000部

3) 研究助成（研究活動に対する助成制度）

- 助成金額：総額80万円（20万円×4件）
- 選考委員会：委員長 野川春夫研究部会長
- 応募件数：6件
- 審査結果：4件を助成対象として選定
 - ① 大スポーツイベントにおけるエコ対策の現状と課題
（山田 大輔 順天堂大学大学院）
 - ② 生涯スポーツイベントにおける参加団体の参加意識について
（佐野 吉彦 順天堂大学大学院）
 - ③ 映画と連動したイベントに関する全国アンケート・ヒアリング調査及びその研究
（谷國 大輔 (株)バリーオ代表取締役・地域プランナー）
 - ④ エコプロダクツ2008におけるイベント効果指標開発のための実証実験
（山田 満 順天堂大学准教授）

4) イベント学懇談会

- ① 「第1回イベント学懇談会」
 - ・日時：08年7月3日（木）18時00分から2時間
 - ・場所：日本イベント産業振興協会 会議室
 - ・テーマ：「観光産業戦略講座実現に向けて」
 - ・出席者：橋爪紳也座長他9名
- ② 「第2回イベント学懇談会」
 - ・日時：08年2月3日（火）18時30分から2時間
 - ・場所：イベント産業振興協会 会議室
 - ・テーマ：「イベント学会の未来ビジョンを語る」
 - ・出席者：師岡文男座長他14名

5) 金曜サロン

実施一覧（開催日、プレゼンテーションテーマ、参加人数、*大阪会場）

4月25日	住育プロジェクト紹介・サラゴサ万博と日本館の最新情報(37名)
5月2日	サラゴサ万博と日本館の最新情報(29名)*大阪
5月30日	おいしい梅酒の作り方(28名)
6月27日	100万人のキャンドルナイト紹介・生物多様性アカデミー活動紹介(34名)
7月25日	東京学生フェスティバル活動紹介・サラゴサ万博視察レポート(25名)
9月26日	モバイルオーダーシステム URICO の提案・10周年記念大会実施報告(23名)
10月31日	平面スピーカがイベントを変える・ことばとことだま/CMソングの歴史(28名)
11月28日	言葉クイズ+懸賞システム=ことけん(30名)
12月19日	一年を振り返ってひとこと(18名)
1月23日	水都大阪2009の紹介・国内イベント市場規模推計結果報告(35名)*大阪
2月27日	学会の最年少理事を目指して・イベントで進化する未来都市の事業計画(28名)
参加者合計 315名	

6) 広報活動

■ イベントロジ 21号発行 (A4、16頁、500部) 2008年10月10日
08年度「研究大会」の紹介／「イベント学のすすめ」発刊の告知

■ 学会 Web リニューアル

- ・ 表紙リニューアル
- ・ 研究大会予告・実施報告ページ「研究大会」新設
- ・ 学会の刊行物紹介・販売ページ「刊行物」新設
- ・ 会員投稿ページ「おすすめコンテンツ」新設

■ メールニュース「イベント学会ニュース」(月刊)

- ・ 研究大会、イベント学懇談会、金曜サロンなどイベントの告知
- ・ 研究助成応募促進、イベントボランティア・事務局インターン募集
- ・ 「おすすめコンテンツ」紹介

■ パブリシティ展開 (一般紙・誌、業界紙・誌)

- ・ 研究大会一般参加者募集
- ・ 「イベント学のすすめ」発刊告知

■ イベント関連団体との連携

- ・ 日本イベント産業振興協会 (JACE) 主催行事へのブース出展
- ・ 日本イベントプロデューサー協会 (JEPC) 主催行事へのブース出展

2008年度決算書(案)

収入の部				
コード	科目名	予算	収入	予算差
511	入会金収入	100,000	200,000	100,000
512	年会費収入 個人	1,500,000	1,410,000	-90,000
513	年会費収入 準会員	200,000	2,000	-198,000
514	年会費収入 自治体会	100,000	50,000	-50,000
515	年会費収入 法人会員	8,000,000	7,600,000	-400,000
516	事業収入 研究大会	1,050,000	1,423,000	373,000
518	事業収入 その他	200,000	390,230	190,230
800	受取利息	0	6,303	6,303
	当期収入計	11,150,000	11,081,533	-68,467
	前期繰越	4,123,503	4,123,503	0
	収入合計	15,273,503	15,205,036	-68,467
支出の部				
	科目名	予算	支出	予算差
700	事業費 研究大会	3,500,000	3,949,639	449,639
701	事業費 年次大会	0	0	0
702	事業費 広報事業	2,500,000	2,095,165	-404,835
703	事業費 研究助成	1,000,000	801,993	-198,007
704	事業費 その他	1,000,000	480,811	-519,189
705	給与・通勤費	2,500,000	2,306,047	-193,953
708	会議費	800,000	499,193	-300,807
710	旅費交通費	700,000	374,900	-325,100
711	消耗品費	250,000	78,499	-171,501
712	通信運搬費	400,000	561,537	161,537
713	印刷費	1,000,000	1,693,825	693,825
714	賃借料	420,000	420,000	0
715	資料費	50,000	0	-50,000
716	謝金	100,000	19,000	-81,000
717	会場費	300,000	238,923	-61,077
718	委託業務費	0	0	0
751	支払手数料	10,000	23,362	13,362
752	雑費	200,000	142,609	-57,391
753	会員加入促進費	0	0	0
	当期支出計	14,730,000	13,685,503	-1,044,497
当期収支差額		-3,580,000	-2,603,970	976,030
収支差額		543,503	1,519,533	976,030
次期繰越差額		543,503	1,519,533	976,030

貸借対照表
2009年3月31日現在

	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
現預金	1,919,533	4,123,503	-2,203,970
資産合計	1,919,533	4,123,503	-2,203,970
II. 負債の部			
未払金	400,000	200,000	200,000
負債合計	400,000	200,000	200,000
III. 正味財産			
1. 正味財産増減の部			
当期正味財産増減額	-2,603,970	671,930	-3,275,900
正味財産期首残高	4,123,503	—	—
正味財産期末残高	1,519,533	3,923,503	-2,403,970

残高証明書

みずほ銀行 ¥598,403

ゆうちょ銀行 ¥1,321,130

合計 ¥1,919,533

残高証明書

イベント学会 様

平成 21 年 3 月 31 日 現在

金額合計	¥ 5 9 8 , 4 0 3 円
------	-------------------

種 類	目 号	金 額 (円)	備 考
普通預金	1694891	598,403 以下 余 白	

貴ご名称指定の残高は上記の通りでございます。
平成 21 年 4 月 1 日

(注) この証明書は金額を訂正いたしません。
残高の残高には他店舗によるご入金分も含まれております。

株式会社みずほ銀行
麹町支店
006759



振替口座残高証明書

口座番号	00120 - 0 - 357450
------	--------------------

加入者名	イベント学会
------	--------

平成21年3月31日 現在の口座現在高

***** 1,321,130 円

上記のとおり証明します。



監査報告書

イベント学会 会長 堺屋 太一様

監査報告書

2008年度の事業報告書および計算書類は、


適正かつ妥当であることを認めます。

2009年4月20日

イベント学会 監事 園田 榮治

園田 榮治 

イベント学会 監事 宮地 克昌

宮地 克昌 

第2号議案

2009年度活動計画（案）および予算書（案）承認の件

(1) 2009年度活動計画（案）

(2) 2009年度予算書（案）

(1) 2009年度活動計画(案)

(2009年)

- 4月10日(金) 「イベント学のすすめ」再版発行(出版社:ぎょうせい)
13日(月) 2009年研究大会実行委員会
22日(水) 2008年度第3回運営会議(TSP太陽)
24日(金) 金曜サロン(中国企業との協業を成功させるために)
5月 8日(金) 研究大会キックオフミーティング
12日(火) 2009年理事会・総会(パシフィコ横浜)
2009年研究大会(～13日(水)・パシフィコ横浜)
(同時開催)「イベントJapan2009」
下旬 2010年研究大会実行委員会準備会
6月 初旬 2008年度助成研究報告会
中旬 会報「イベントロジー」22号発行(研究大会、総会報告)
中旬 2009年度研究助成募集開始(締切7月下旬)
下旬 金曜サロン(東京)
7月 中旬 イベント学懇談会
下旬 2009年度第1回運営会議(第一四半期活動報告・2010年研究大会)
8月 中旬 2009年度研究助成審査会
下旬 金曜サロン(大阪)
9月 中旬 2008年度研究対象論文集の発行(学会Webへの掲載)
10月 下旬 金曜サロン(名古屋)
11月 中旬 第2回運営会議(上期活動報告)
下旬 イベント学懇談会
12月 下旬 金曜サロン(東京)

(2010年)

- 1月 下旬 賀詞交歓会
2月 中旬 第3回運営会議(2010年度活動計画、理事・役員改選)
下旬 金曜サロン(大阪)
3月 初旬 選挙管理委員会
下旬 2009年度研究助成報告会

① 2009年研究大会

趣 旨：2008年の「イベント学会10周年記念大会」のテーマ「イベントイノベーション」を 中長期的テーマとして継承し今年開港150周年を迎えて記念行事で賑わう横浜市と連携し、イベントによる社会変革を発信してゆく。

また、イベントの総合展示会「イベント JAPAN2009」と同時開催することで発信力の向上を図る。

テーマ：～イベントが都市を創造する～

会 期：2009年5月12日(火)10:00～18:00

5月13日(水)10:00～17:00

会 場：パシフィコ横浜/会議センター小ホール、ロビー、小会議室、展示ホールB
(プログラム)

■ 5月12日(火)

12:45～13:15 イベント学会2009年度総会

[2009年研究大会]

13:30「開会宣言」

宮木 宗治 大会実行委員長(イベント学会常務理事)

13:35「来賓ご挨拶」

川口 良一 横浜市開港150周年・創造都市事業本部 本部長

13:40「記念講演」 堺屋 太一 イベント学会会長

講演テーマ『イベント イノベーション』

14:45「シンポジウム」～イベントが都市を創造する～

モデレーター/橋爪 紳也(イベント学会副会長)

パネリスト /近澤 弘明氏(横浜まちづくり倶楽部 発起人会・世話人)

/池田 修氏(BankART1929 代表)

/羽田 耕治氏(横浜商科大学 商学部 貿易・観光学科教授)

ビデオメッセージ/日比野克彦(横浜開港150周年プロデューサー)

16:15～17:00 口頭発表2件(エア遊具の安全・エコ展示会)

10:00～17:30「ポスター発表」 (口頭説明:17:05～17:30)

10:00～18:00 イベント Japan 展示ブース出展

■ 5月13日(水)

10:00～16:30 口頭発表14件

10:00～16:30 ポスター発表

11:00～15:50 ミニシンポジウム4件

10:00～17:00 イベント Japan 展示ブース出展

16:45～17:15: 閉会式・記念撮影

(2010年研究大会の準備)

自治体、大学、研究機関との連携を図る中で関西圏での開催の可能性を検討する。

②研究助成

趣 旨：イベント学研究振興のため、会員に研究費を助成する。

予 算：40万円（2件程度）

募集締切：7月末

結果発表：9月初旬

報告会：2010年3月下旬

③イベント学懇談会

趣 旨： イベント学の推進と会員相互の交流を図るため、自由なテーマで会員が研究発表、意見交換を行い今後の活動の基盤を創る。

専門研究会：懇談会の発展形としてテーマ別専門研究会を設置し研究を継続することも検討する。08年度から継続して「寄付講座研究会」や「ジャーナル発刊研究会」などのテーマに取り組みたい。

予 算：10万円（2回程度）参加費は一人1,000円。

④金曜サロン

趣 旨： イベントに関連する技術、商品、サービスなどの情報を会員間で共有すると同時に、非会員との交流を図りながら新規会員獲得を目指す。

会場地：東京、大阪、名古屋など

予 算：20万円（年間6回程度）参加費は一人1,000円。

⑤広報活動

趣 旨：会員の参加を得て研究発表や寄稿などのコンテンツを積極的に発信し、会員相互の交流と学会活動のPR、新規会員獲得を目指す。

メディア：「会報イベントロジー」年間1回程度発行。イベント関係団体、関連学会にも配布。

「Web」会員参加による交流メディアとして発表抄録集や寄稿を募集する。

「メールマガジン」イベント学懇談会、金曜サロンの開催告知などを定期的に発信。

予 算：150万円

⑥イベント学会10周年記念出版

「イベント学のすすめ」再版発行

発行日：4月10日

部 数：1,000部

出版社：ぎょうせい

(2) 2009年度予算書(案)

収入の部			
コード	科目名	08年度決算	09年度予算
511	入会金収入	200,000	200,000
512	年会費収入 個人	1,410,000	1,400,000
513	年会費収入 準会員	2,000	10,000
514	年会費収入 自治体会	50,000	50,000
515	年会費収入 法人会員	7,600,000	5,300,000
516	事業収入 研究大会	1,423,000	500,000
518	事業収入 その他	390,230	100,000
800	受取利息	6,303	0
	当期収入計	11,081,533	7,560,000
	前期繰越	4,123,503	1,519,533
	収入合計	15,205,036	9,079,533
支出の部			
	科目名	支出	支出
700	事業費 研究大会	3,949,639	1,500,000
701	事業費 年次大会	0	50,000
702	事業費 広報事業	2,095,165	1,500,000
703	事業費 研究助成	801,993	400,000
704	事業費 その他	480,811	100,000
705	給与・通勤費	2,306,047	1,800,000
708	会議費	499,193	400,000
710	旅費交通費	374,900	300,000
711	消耗品費	78,499	50,000
712	通信運搬費	561,537	300,000
713	印刷費	1,693,825	500,000
714	賃借料	420,000	420,000
715	資料費	0	20,000
716	謝金	19,000	20,000
717	会場費	238,923	50,000
751	支払手数料	23,362	20,000
752	雑費	142,609	80,000
	当期支出計	13,685,503	7,510,000
当期収支差額		-2,603,970	50,000
収支差額		1,519,533	1,569,533
次期繰越差額		1,519,533	1,569,533